

- * 私たちにはそれぞれ神より賜物を与えられている。それは、教会を建て上げるためであるという。最初にイエス・キリストがなさったことはそのための専門職を立てることであった（エペソ 4 : 12）。特別な力を持ったパウロ他数名の「使徒」、神から啓示を受けてみことばを伝える「預言者」、現代の巡回伝道者のような働き「伝道者」、そしてある地域で牧会伝道をする「牧師・教師」。これらのみことばに仕えることに召された者が教会に与えられることは教会の賜物であり、恵みである。現在、無牧の教会が増えつつある。献身者がもっと起こされるよう祈ろう。
- * 「それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、」（エペソ 4 : 12）信徒たちの霊的健康状態を保つように助けると同時に、一人ひとりが賜物に応じた奉仕の働きができるようにすることが牧師・教師の働きである。牧師は、特権があるからではなく、また特別な賜物があるからでもなく、ただキリストに召されたから、主に仕え、教会に仕える者として働くのである。
- * 「キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。」（4 : 16）誰にでも必ず与えられている賜物は、キリストのからだである教会を建て上げるために用いるようにされている。そして、各人のそれぞれ違った賜物は単独ではよく働かない。「結び目」すなわち、人と人との強い絆で結ばれることによってより強い力を発揮し、教会が成長していくのである。しかも、結び合わされるためには互いが互いを必要として仕え合う心と行動が必要である。人を愛する「愛」である。
- * 「ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためです。」（4 : 13）個人の信仰の成長・成熟は教会の成長・成熟と相関関係にある。個人の信仰の成長は教会の中で生まれるし、教会は個人の成長の集積として成長・成熟へと向かう。「一致」とは他の多くの人たちと同じものを共有することである。クリスチャンの共有するものの中で根幹となるのは「信仰の一致」である。「私はイエス・キリストによって救われた」という体験の共有である。一人ひとりが教会の中で育ち、成長し、全体として成熟へと向かってい

きたい。